

発行所 東京都新宿区左門町11番地6の101
〒160-0017
社団法人 大学婦人協会
電話 03-3358-2882
FAX 03-3358-2889
http://www.jauw.org
E-mail:jauw@tky2.3web.ne.jp
発行人 今井けい
編集責任者 松本佳子

J A U W

おもな記事

- 1面 会長挨拶、第48回通常総会案内、中東女性交流訪問団に参加して
- 2面～3面 国内奨学生選考経過と提出論文要旨
- 4面 支部だより
- 5面 国際奨学生、国際奨学生一覧
- 6面 第4回自然科学講演会、留学生と日本文化を学ぶ会、ほか

第48回通常総会ご案内

早春の候、皆さまにはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、第48回通常総会が、この度横浜で開催されることになりました。日程等は下記のとおりです。どうぞお誘い合わせの上、多数ご出席くださいますようお願い申し上げます。

1. 総会関係 (於:横浜プリンスホテル)

月日	会合	時間	会場	費用
4月9日 (土)	臨時理事会	13:00~13:30	横浜プリンスホテル 1F 「平安の間」	会費 8,000円
	評議員会	13:30~15:30		
	支部長懇談会	15:30~17:00		
4月10日 (日)	懇親会	18:00~20:30	横浜プリンスホテル 1F 「綾の間」	総会費3,000円 昼食代3,000円
	総会	9:00~16:00	横浜プリンスホテル 1F 「綾の間」	

*懇親会には、テノール歌手の下野 昇さん、ピアノ伴奏は宇田田かおるさんの出演を予定しています。
*懇親会後、1F「平安の間」にて、青木怜子さん・房野 桂さんによる講演「パースでのI F U W総会報告」を予定しています。

2. 宿泊 横浜プリンスホテル

〒235-8511 横浜市磯子区磯子3-13-1
TEL 045-751-1111 FAX 045-753-8811
(チェックインタイム 14:00 チェックアウトタイム 12:00)

交通(詳細は申込書など配布)

- ①東海道新幹線・新横浜駅～東神奈川駅(横浜線)～JR根岸線・磯子駅下車(約40分)、徒歩約5分。(資料参照)
- ②横浜駅～JR根岸線・磯子駅まで15分。磯子駅からは①と同じ。
- ③土・日のみ京浜急行屏風ヶ浦駅～ホテル間のシャトルバスが運行されています。駅発-10:00~17:51 ホテル発-10:12~18:00 (運行時間は資料参照)

料金 ツイン 10,000円 シングルユース 15,000円

- *いずれも一泊・朝食・サービス料込みです。
- *ツインご希望の方は、同室希望者名を申込用紙にお書きください。
- *4月10日の夕食は、バイキング形式で5,000円(税、サービス料込み)で横浜プリンスホテル内のレストランをご用意しています。
- *全室海側、フラワー・プロムナード(料金・1,000円→300円)を楽しめます。

3. 見学会(バスツアー)

4月11日(月)

- ①「古都鎌倉コース」 参加費 8,500円(定員40名 先着順)
8:30 出発
ホテル～浄妙寺・報国寺～昼食(鉢の木)～円覚寺、東慶寺、建長寺～横浜駅
(帰着予定16:00)

- *浄妙寺ではお抹茶をいただきながらの庭園鑑賞。
- *円覚寺では、建物としては唯一の国宝、舍利殿を見学(普段は一般公開なし)。
- *鎌倉市内は交通事情によって時間が左右されます。東慶寺、建長寺は到着時間の関係で見学中止の場合もあります。

- ②「横浜エンジョイ・コース」 参加費 7,000円(定員40名 先着順)
8:30 出発
ホテル～三溪園～外国人墓地・みなとの見える丘公園・山下公園～昼食(中華街、順海閣)～中華街・元町(時間に余裕があれば)散策～港みらい21地区・赤レンガ倉庫散策～横浜駅(帰着予定16:00)
- *三溪園は明治39年に原三溪によって開園され、園内には国指定重要文化財が10棟、市指定有形文化財が3棟あります。
- *昼食後の散策は、時間の関係上1カ所に変更になる可能性もありまい。

※西コースとも、軽装でお出かけください。
※お問い合わせ先: Tel/Fax 045-401-2445 松本基子

4. 申し込み方法

- (1) 申込書に必要事項をご記入の上、「支部提出用」は各支部長へ提出、「個人控え用」は、総会当日に各自ご持参ください。各支部で出席者を取りまとめ「支部出席者取りまとめ用紙」にご記入の上、2月25日(金)までに下記へお送りください。

〒243-0412 海老名市浜田町6-11
(社)大学婦人協会神奈川支部 堀美知子
TEL: 046-232-5660 FAX: 046-292-6026 (総会専用)

- (2) 費用は3月11日(水)までに指定の郵便振替用紙で、個人別に下記口座にお振込みください。

振替口座番号 00260-0-61121
口座名称 JAUW第48回総会受入口座

- (3) 総会、懇親会、見学会、宿泊のキャンセル受付は3月25日(金)までとします。ただし、総会費3,000円はキャンセルの日時に関係なく返却できませんので、ご了承ください。ご不明の点は、下記へお問い合わせください。

〒243-0412 海老名市浜田町6-1-11
TEL: 046-232-5660 FAX: 046-292-6026 (総会専用)
E-mail: mko@green.ocn.ne.jp
第48回通常総会準備委員長 堀美知子

カイロでは、国家母子協議会(国の組織)が出席した。翌日早速、訪問団の3人とエジプト側の4人の発表と討論が行われた。カイロ市のゴミ処理を請け負っている環境NGOとイタリア系公益企業の現場責任者(女性)が事業を紹介し、翌々日カイロ市北部に広がる土漠地帯に、それらのリサイクル・センターとゴミの埋め立てサイトを視学した。両者とも、貧困層の雇用創出、開発教育、リサイクル収益事業を見事に調和させていた。このほか社会保険・社会問題相(女性)、環境相を公式訪問。大臣などの話から、両国を通じて共通の社会問題は貧困であり、家族内の地位の低い女性に与っては、貧困は女性の問題でもあるとの印象を強く持った次第である。

「子午線の祀り」のあとで 年頭のごあいさつ

JAUW会長 今井けい

「夕鶴」で名高い木下順二のもう一つの作品「子午線の祀り」を年末に観ることができた。さまざまなジャンルの演劇様式をとり入れた意欲的な作品で、若くて人気の狂言師野村萬斎が平知盛を演ずるということで前評判の高いものであった。子午線という大宇宙の下での源平の争いが緊迫感をもって描かれている。潮の満干を計算に入れた生死を分けた戦いである。波のイメージはさらに、何の予告もなく突如襲ったスマトラ沖での大津波へと移り、改めて自然の威力と人間の生命を考えさせられた。犠牲者とその遺族に心から哀悼の意を表したい。人災のバレスチナ・イラク紛争は一日も早く終わらせたい。

悲愴なニュースの多かった年もあけ、2005年はまた、優秀な大学院生7人と社会福祉奨学生2人に奨学金を贈呈する「新春のつどい」が始まった。「途上国の児童労働」や「生殖技

術の進展に伴い、新しい親子関係」などタイムリリーなテーマが目立ったが、どの人も選ばれた誇りと将来への夢に溢れていて、明るい雰囲気にも包まれていた。このような若い人たちへの支援はJAUWの誇りでもある。目下、これまでの奨学生の追跡調査を行っており、その後社会で活躍する人びとのネットワークを作りたいと考えている。

JAUWの財政事情が逼迫する中で、昨年8月のIFUW総会では一人あたりの会費値上げが決定した。JAUWの会費値上げもいざれ実施しなければならぬが、当面は伝統ある国内奨学金事業の安定化のために、国際奨学金などと同様に国内奨学金基金を設立したいと計画である。会員の皆様にはご寄付



国内奨学金贈呈式 1月8日(土)、京王プラザホテルで。写真=今井会長から奨学金を贈呈される社会福祉奨学生の小澤美幸さん

日本中東女性交流訪問団に参加して

副会長 田中正子

昨12月上旬、6名の訪問団の一員として、アンマンとカイロを訪問した。今年度のテーマは「女性と環境」で、ヨルダン女性総連合(GFJW)で、ヨルダン女性総連合(GFJW)が準備した日程も、それに沿ったものであった。

滞在3日間の公式訪問先は、大アンマン環境部と市長、社会開発相、環境相、王立環境研究センター、児童

2日目に西岸地区からバレスチナ代表1名(自然保護NGO)が参加。3日目に、日本からの訪問団の3名とバレスチナ代表の発表会が開催された。友の会の山口和枝さんが示した保温用の「なべ帽子」に、終了後聴衆が群がった。主婦の関心は世界共通である。4日目にカイロへ。ホテルに荷物置いてカイロの南隣のギザへピラミッド見物に。ラクダに乗って記念撮影した後、エジプト古代博物館へ。人口が国全体で550万人のヨルダンに対して、千九百万人を擁するカイロ市は、中東一の大会場で車が溢れているにもかかわらず、交通信号がほとんどない。車はベコベコ、道路を横断するのも命懸けである。

ヨルダン女性総連合名誉会長バスマ王女(中央右)表敬訪問(右から2人目が田中会員)アンマンにて

童のための環境教育施設、王立自然保護協会環境教育、女性上院議員(家族問題)などで、それぞれ説明と質疑が行われた。訪問のハイライトは、この交流事業の提案者で、GFJW名誉会長であるバスマ王女(ヨルダン前国王の妹)表敬訪問で、翌日の新聞に会見の様子が写真入りで掲載された。

2004年度 国内奨学金受賞者

I 一般奨学生 大学院生 6名

氏名	大学院	研究科・専攻	課程・学年	推薦	出身大学
岩崎陸美	東京工業大学大学院	理工学	修士2年	同大学院	東京工業大学
岩下奈々絵	早稲田大学大学院	法学	博士後期2年	同大学院	早稲田大学
高井東子	横浜国立大学大学院	国際社会科学	修士2年	神奈川支部	早稲田大学
行方衣由紀	東邦大学大学院	薬学	博士前期2年	同大学院	東邦大学
吉澤香織	一橋大学大学院	法学	修士2年	同大学院	一橋大学
劉曉玉	東京藝術大学大学院	美術	修士1年	同大学院	中野区工芸大学

II 安井医学奨学生 1名

氏名	大学院	研究科・専攻	課程・学年	推薦	出身大学
吉田祐美	岡山大学大学院	自然科学	博士後期2年	岡山支部	岡山大学

III 社会福祉奨学生 大学院生1名 学部生1名

氏名	大学・大学院	研究科・専攻/学部・学科	課程・学年	推薦	出身大学
小澤美幸	明治学院大学法科大学院	法務職研究科	1年	同大学院	東海大学
東谷瞳	三重大学	学校教員養成課程	学部2年	愛知支部	女子大学

選考と結果

「二〇〇四年度国内奨学金贈呈式」
 2005年1月8日(土)、「国内奨学金贈呈式」が、今年も京王プラザホテルの間で行われた。一般奨学生が大学院生対象になってから2年目になる。受賞者は前年と同じ9人。贈呈式には8人(東谷瞳さんは欠席)が出席した。今年も、端正でレベルの高いスピーチが続き、受賞者の輝かしい未来を予感させた。

第57回 一般奨学生 第14回 安井医学奨学生

国内奨学委員長
 鷲見八重子

本年度の国内奨学生は、昨年度と同様、一般奨学生6名、安井医学奨学生1名、社会福祉奨学生3名以下を募集することとし、東京都、千葉県、埼玉県、東京都、千葉県、埼玉県、東京都と琉球大学へは直接大学長宛に、その他の地域については28支部の各支部長宛に募集要項を送付して、奨学生候補の推薦を

お願いしました。
 その結果、一般奨学生48名、安井医学奨学生5名、合わせて昨年を3名上回る53名の応募があり、10月23日(土)、今井会長の出席のもとに選考委員会が開かれました。

選考委員会に先立ち、14名の各委員は応募者の書類を検討し、各自の評価表を作成して委員会に臨み、研究内容を中心に、専攻や地域も考慮して慎重に審議を行った結果、一般奨学生6名、安井医学奨学生1名の候補者を選び、さらに一般奨学生の候補者から、ホームズ奨学生候補者1名を選考しました。

候補者は11月6日の理事会の承認を受けて2004年度奨学生として決定し、応募学生、推薦大学、各支部長に結果の報告をいたしました。ほぼ8倍の競争率となる多数の応募者から奨学生を選考することは非常にむずかしく、今回残念ながら選ばれなかった中にも、優れた研究が多数見られます。それだけに今年度も、本奨学生にふさわしい優秀な方たちを選ばれたと思っております。

岩下奈々絵さん(ホームズ奨学生)は、貧困問題に関心をもち、児童労働の搾取とそこから不当な利益をあげている犯罪組織に対して、国際法などの程度各国に法的措置を義務として負わせるかを検討しています。

岩崎陸美さんは、宇宙ステーション建設のような、大気とは異なる真空条件下での、金属同士の摩擦による金属付着問題に注目し、高硬度の皮膜材の高速合成方法の開発を行っています。

高井東子さんは、開発途上国における財源の分権化と、それを補完する公共支出管理の問題点をまとめ、南米最貧困国ボリビアの、地方分権体制における公共支出管理の効率化を考察しています。

行方衣由紀さんは、細胞内での動きを、生きた心筋細胞内で可視化する新技術を確立し、心筋虚血など各種細胞障害メカニズムの解明と、

第33回 社会福祉奨学生

社会福祉委員長
 林千代

社会福祉委員会は、例年のように国内奨学委員会の運びに合わせて奨学生の募集を行いました。大学院生、学部生各々5名、計10名の応募がありました。しかし、院生のうち1名が、応募条件である障害者手帳を添付していなかったためお断りせざるを得ませんでした。したがって応募者数は、9名となります。

審査は、「奨学金規程」により学業、人物ともに優れた者であること、を前提に、委員会が話し合った次の項目を目安に行いました。それは①課題設定のオリジナリティ、②研究目的・論旨の明確さ、③熱意の伝わるもの、④障害の程度、⑤学業成績等を考慮する、の4点です。10月23日(土)、委員全員が応募者一覧表に、各コメントと共に順

組織を保護する薬物の開発に取り組みんでいます。
 吉澤香織さんは、「法的親子関係を決めるものは何か」の観点からフランス法を比較対照として、DNA鑑定の利用の問題点や、日本法の親子関係に関する諸規定を再検討しています。

劉曉玉さんは、文化財の一つである陶磁器の産地、時代、様式に応じた伝統的技法をふまえ、剪紙貼花装飾技法の応用を中心に、陶磁器の保存・修復技術の研究をしています。

吉田祐美さん(安井医学奨学生)は、細胞内の化学伝達物質の円滑な働きに必須とされるシナプス小胞の再生・再利用の過程に重要な役割を果たすダイナミンGTPアーゼに着目し、その機能を調節するアンフィライジンによるエンドサイトーシス調節機構を、世界に先駆けて発表されました。

以上のように、将来性豊かな学生の方たちに奨学金を差し上げ研究の一助としていただけることは、協会としても幸甚なこと。選考の過程に直接関わってくださった方々ももとより、様々なかたちで奨学金を支えてくださっている会員の皆様にも、心からお礼を申し上げます。

位をつけて持ち寄り、慎重な審議を行いました。その結果、院生・学部生から1名ずつという枠により選考。理事会に推薦、11月6日(土)承認、決定となりました。

小澤美幸さんは、法科大学院の1年生です。筋疾患による体幹の機能障害(マルファン症候群)によって歩行困難、車椅子と松葉杖を使用。学部では医学部入学を断られ、法社会学を専攻しました。「障害者」として人権を踏みにじられてきた体験をもとに、いま弁護士を目指しています。

学部生の東谷瞳さんは、脳原性による運動機能障害で電動車椅子使用、教員養成課程障害児教育コースの2年生です。「社会に貢献したい」、「可能な限り努力を」という記述は、私たちの心に響きました。教職に就きたいとの希望を持っています。優劣つけ難かった応募者の方々に、心からエールを送ります。またご協力いただいた関係者各位にお礼申し上げます。

提出論文概要と将来の希望

【一般奨学生】

物理気相成長法による高密度アモルファスカーボン(a-C)膜の高速合成

東京工業大学大学院
 岩崎陸美

宇宙ステーションの建設が実際に進む現代社会では、大気とは異なる真空条件下で金属同士の摩擦による金属付着問題など、今まで以上に材料表面が重要になる。そこで、材料(母材)の表面を異なった材料でコーティングし、母材表面の摩擦抵抗の低減や絶縁性など、母材とは異なった性質を付加することが求められている。

コーティング材の中でもアモルファスカーボン(a-C)膜は、ダイヤモンドに近い高硬度の膜を合成でき、高硬度・低摩擦など優れた機械的特性を示すため、ハードディスクの保護膜などに実用化されている。しかし、高硬度を得やすい物理気相成長法によるa-C膜の合成は、成膜速度が遅く、ドロップレート(結晶状態がグラファイトに近い粒)を膜中に含むため、実用化されている膜のほとんどは、高硬度を得にくい化学気相成長法によるものである。そこで、高硬度で低摩擦を期待でき、今まで以上に広範囲への応用が可能であるa-C膜の開発を目的とする。

そこで、物理気相成長法の中でも、高速合成が可能である真空アーク蒸着法を用いて実験を行った。

修士論文では、時代により変遷をたどる児童労働についての、国連を通じた法的保護の枠組みの構築という人権面からの規制、及び国際労働機関に

ている。この手法はアーキ放電で成膜するため、成膜速度は速いがドロップレート含有率が高くなりやすい特徴を有している。これまでの研究により、アーク放電発生時の電圧・電流を制御することで、高硬度を阻害するドロップレートの含有をほぼ0にでき、成膜速度のより一層の高速化が可能であることを示した。

最悪の形態の児童労働に対する国際法上の規制の適用について

早稲田大学大学院
 岩下奈々絵
 (ホームズ奨学生)

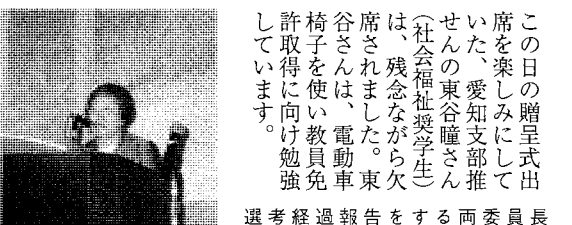
私は当初より貧困問題による労働面からの規制について検討し、その評価点と問題点を明らかにし、貧しさゆえに教育の機会を奪われているという現実に対しては特別な関心を寄せていたため、これまで、途上国の児童労働問題を中心テーマに据えて研究を進めてきました。

修論論文では、時代に より変遷をたどる児童労働についての、国連を通じた法的保護の枠組みの構築という人権面からの規制、及び国際労働機関による労働規制条約であるILO第182号条約で、国内での犯罪化が求められている奴隷・強制労働、人身売買・性的搾取、薬物取引に焦点を絞って検討を加えています。

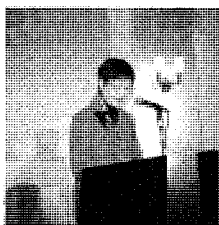
そして、こうした犯罪行為を、直接的な法的連結がなくとも、犯人に自国法を適用できる普遍主義の適用可能性、何をしても反することはできない強行規範違反の可能性、国際共同全体に対する国家的義務を表す、対世的義務への該当性などの観点から分析し、その取り締まりを含め法的な措置をとる事を、いかに各国に義務として負わせるかという点について検討しています。



奨学生と記念撮影 前列左から林社会福祉委員長、鷲見国内奨学委員長、今井会長、田中副会長(後列左)、柳原副会長(右)



この日の贈呈式出席を楽しまれていた、愛知支部推薦の東谷瞳さん(社会福祉奨学生)は、残念ながら欠席されました。東谷さんは、電動車椅子を使い、教員免許取得に向け勉強しています。



選考経過報告をする委員長

貧困と制度—貧困国における公共支出管理

横浜国立大学大学院
高井 東子

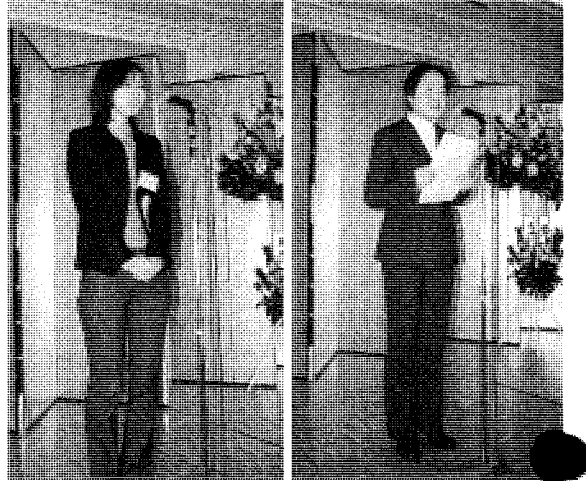
1980年代より先進諸国において展開された公共部門改革は、1990年代に入り、世界銀行・IMFの融資条件の底流をなし、開発途上国においてもグッドガバナンスの名で進められている。中でも、財政分権化とそれに伴う公共支出管理は、貧困削減への焦点、援助の効率化、そして途上国政府の役割の見直しなどが迫られている現在の援助体制において、重要な課題となっている。しかしながら、途上国における財政分権化は、現在、様々な問題が生じており、またそれを補う形で導入されている公共支出管理も同様である。

以上の問題意識から、論文では、第1章では、途上国における財政分権化の歴史的背景と分権化をめぐって議論を考察する。

新しい作用機序に基づく心筋保護薬の研究

東邦大学大学院
行方 衣由紀

私の修士・博士課程での研究の目標は、細胞内の出来事を生きた心筋細胞内で可視化する新技術を確立し、従来からの薬理的、電気生理学的手法と組み合わせた総合的検討により、心筋虚血—再灌流傷害および薬物による保護の機序を明らかにすることである。



奨学金の贈呈を受け、喜びのスピーチをする奨学生

法的親子関係を決めるものは何か

一橋大学大学院
吉澤 香織

私の研究テーマは「法的親子関係を決めるものは何か」である。いわゆる「血縁（生物学的真実）」か「親と子の社会的事実」という議論がなされる問題についてである。

陶芸における剪紙貼花による装飾技法の研究

東京芸術大学大学院
劉 晔玉

文化財の一つである陶磁器は、それぞれの産地、時代、様式に応じた制作の歴史があるので、用いられる材料やその制作、使用方法などは、長年の間に培われてきた伝統の下にある。伝統的技法を研究し、かつ現代技術によって復元することにより、技法の保存と修復方法を把握しなければならぬと考える。



贈呈式のあとで、岡山支部の吉田祐美さん（安井医学奨学生）が受賞した喜びを語る早津岡山支部長

「安井医学奨学生」シナプスにおけるエンドサイトーシス調節の機構

岡山大学大学院
吉田 祐美

細胞間のコミュニケーションは私たちの生の営みで最も基本的な仕組みの一つです。これは細胞同士が化学伝達物質をやりとりすることで行われ、仕組みは複雑です。神経細胞を例にあげると、細胞内には化学伝達物質を含んだシナプス小胞という細胞内小器官があり、神経が興奮すると、シナプス小胞が細胞膜に融合し、内部の化学伝達物質が、細胞外に出てきます。放出された化学伝達物質が隣接する細胞にシグナルとして伝えられるわけです。これを神経の化学伝達と呼んでいます。

教職への道

三重大学
東谷 瞳

私は現在、養護学校の教員免許を取得することを目指して、大学で学んでいる。私がこの職種に就きたいと思ったきっかけの一つとして、障害者が自らの障害を人生の中でいかに受容し、いかに目標をみつけ、いかに有意義に過ごすかという課題とより深く対峙したいという点が挙げられる。

「障害者」ではなく、ひととして

明治学院大学法科大学院
小澤 美幸

人権侵害を人権問題として、法のルールで社会を理由に拒否され、同大の中で解決すべく弁護士になりた。 「障害者」という言葉を超え、すべて者が患者に望まれないというひとが、ひととして、自ら道を選び取れるよう刻んだ。すべて受け入れようとした。

法学部卒業後、司法試験指導校で勉強を始めた。しかし、現実には自ら道を選ばなかったという思い、「障害者」という言葉に、苦しんだ。同時に、学術研究会で、肢体不自由児が権利をあらためる過程を研究した。私の問題は、社会の一端だった。みな当然に学校や施設の外に生きることを拒まれ、傷つくことをあきらめていた。「障害者」だからと、もがきつつ、私は、共感し励ましてくれる司法試験合格者や弁護士と出会っていった。「傷ついている」「うれしい言葉」だった。

〈支部だより〉

設立58年、地域に密着して

札幌支部長 橋本素子



2004年新年会、札幌グランドホテルにて。

札幌支部は1947年性の地位向上にかけた思(昭和22年)大学婦人協

58年後の現在の会員数は37名。出身地も身地も身地も身地も...

頑張っています—新潟

新潟支部長 登坂美江子

新潟支部では4つの部 潟大学の鈴木佳秀教授か

生から、「イスラム圏に おける女性の暮らし」に ついて話を聞いた。

今年には明るい話題が続きました 恵美さんの講演をきく

研究者である二三恵美さ んが、第6回守田科学研 究奨励賞を受賞された

東京支部は会員470 名の大会であり、また シア二博士と佐藤道代氏

お笑いジェンダー論

—少子高齢社会を考える—

静岡支部長 大塚佐枝美

現在会員数は65名で す。これまで全国セミナー

「日本中に2種類の林業 者がいる」としよう。片方

その利点は、本部の活 動を迅速に把握できるこ



静岡支部、「お笑いジェンダー論」の講演会

支部の活動を募集 支部の活動状況、悩み、人物紹介、風物詩な

広報委員会

IFUWからのメッセージ

グレースルダ ケニオン会長

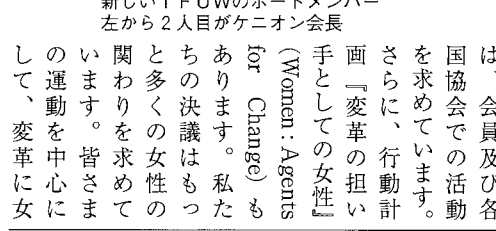
よりの手紙 (抄訳 注1)

2004年10月15日

パスで皆さまにお目柄の中で、何が、一番重要だと皆さまはお考えでした。IFUWが直面している深刻な内部問題にもかかわらず、皆さまが今でも協力を考え出そうと協力したよい会でした。

目下の問題は、一つにはAAUW(アメリカ大学婦人協会)が分担金の支払いをしないとの決定をしたこと、及び各国とも会員数が減少し、収入が少なくなっていることです。総会では、各国連盟等のグループに検討していただく提案を生み出すための「タスクフォース」を設立するとの決議が合意されました(注2)。私たちが行うあらゆる事

IFUWのメンバー



の疎通が図れても、実際の対面しての議論、夕食をしながらの話し合い、ホテルの部屋で夜まで問題を語るにどの効果は得られません。会合、連絡、議論、友情を保ち続けようとするのが大切で、日本協会からの多額の寄付と、資金集めのための「IFUW友の会」の提案に感謝します。

IFUWの組織は何年にもわたって変わっていません。eメールで意思

性に関わらせる。私たちの活動も女性の地位を向上させ、変革に貢献する全体的な運動の一部です。私たちが変革に関与しなくても、変革は起こりますが、たぶん私たちの望まないほうに行ってしまう。IFUWのそれぞれの活動はバラバラではなく、互いに関連して、地域、国内的、国際的計画や活動に繋げることが出来るのです。

みなさまの国での活動の成功をお祈りします。私たちはお互いに、必要であれば助け合うために集まっています。

(稲田国際委員長訳)

*注1 JAUWホームページの「国際委員会」上に全訳があります。
*注2 タスクフォース報告書と各国連盟の評議員が議決すべき内容の抄訳も、ホームページで公開予定です。

2004年度国際奨学生

スリランカとナイジェリアから

マンガリカさん(応用生物学・線虫学)

アレムさん(植物病理学)

国際奨学委員長 阿部 幸子



マンガリカさん アレムさん

2004年度の奨学生には、11名の応募者の中から、スリランカのS.P.プリヤンティ、R.マンガリカさんとナイジェリアのエヴァリン・アイゴ・アレムさんの2人が選ばれました。

マンガリカさんは、スリランカのペラニア大学から、協定校である佐賀大学農学部修士課程特別コースに入学され、終了後の10月からは鹿児島大学大学院連合農学研究所(博士課程)に進学され、その傘下にある佐賀大学で引き続きヒラタケ栽培に及ぼす線虫の影響について研究しています。

スリランカでは、ヒラタケ栽培が盛んで、虫や微生物などによる病気の発生により、栽培者は大きな損害を受けます。とくに線虫が問題ですが、その病原性を明

らかにできれば、それによる病気を防ぐことができます。

彼女は、これまでにスリランカのヒラタケ菌床から新種の線虫を発見しており、その生理活性を調べ、ヒラタケ栽培に与える影響をいろいろな角度から検討しています。報告会では、研究報告のほかに、スリランカについてのお話も聞かざるを得ないです。

アレムさんは、昨年3月に鳥取大学農学部大学院で博士号(植物病理学)を取得し、さらに研究を継続するために再来日して研究を行っています。

彼女は、植物内に住み着いている内生菌を用いて植物の病気をコントロールする研究に従事しています。とくに、二十世紀製の若芽から内生菌を分離し、内生菌によって

お知らせ

マンガリカさんの研究報告会を次の通り開催します。(お申し込みは2月15日までに事務所へ)

日時 2月21日(月)
11時30分~1時食会
1時30分~4時報告会
(通訳あり)

場所 アルカディア市ヶ谷(丸の内線・9921)
会費 会食 四千元
報告会のみ千円
(茶菓子つき)

国際奨学委員会
(東京支部共催)

JAUW国際奨学生一覧(1970~2004)

*...博士号をもつ。 年齢...受入れ時。

年度	国	専門(研究対象)	受入先	年齢	年度	国	専門(研究対象)	受入先	年齢
1970	ドイツ	生物学	京都	*	1989	インド	アレルギー性鼻炎	日本医科	*
1972	フィリピン	演劇	聖心女子		1990	トルコ	材料力学	大阪	44 *
1973	スリランカ	栄養学	日本女子			インド	細胞遺伝子	大東	27
1975	スイス	日本美術	京都		1991	ウガンダ	細菌学	大阪	49 *
	フィリピン	椰子油	東京工業			イギリス	社会学	大東	37
1976	アルゼンチン	青少年非行	東京	38 *	1992	ボリビア	歯学	藤田学園保健衛生	49 *
	韓国	婦人労働問題	東京	40		フィリピン	教育行政	立命館	46
1977	ニュージーランド	建築	東京工業	27	1993	アメリカ	日本語の敬語	日本女子	28
	エジプト	薬剤学	北里	34 *		トルコ	テキスタイル	国立科学材料研	31
1978	トルコ	音楽の才能教育	鈴木才能教育研	38	1994	インド	生化学	京都	39
	ニュージーランド	日本語と日本文化	京都産業	38	1995	ベルギー	電子工学	NEC Corp. 研	26
1979	フィリピン	言語表現の比較研究	筑波	31		エジプト	社会学・女性学	お茶の水女子	50
	オーストラリア	高学歴女性の就労	日本女子	33	1996	トルコ	保健学	広島	27
1980	香港	国際関係論	東京	*	1997	ルーマニア	有機化学	名古屋	29
	タイ	酵素	東京	*	1998	バングラデシュ	分子生物学	大阪府立	30
1981	スリランカ	昆虫学	筑波	*	1999	アルメニア	公衆衛生学	北里	53 *
1983	インド	生化学	愛知県がんセンター	*	2000	タイ	比較社会文化研究	九州	27
1984	スリランカ	セラミック	東京工業		2001	エジプト	栄養学	長崎県立シーボルト	42 *
1985	アメリカ	教育行政	立教		2002	モンゴル	環境問題	千葉	44
1986	インド	結晶学	東京工業	*	2003	韓国	病理学	東京	32
1987	フランス	物理化学	東京		2004	ナイジェリア	植物病理学	東鳥	34 *
1988	スイス	精神衛生・公衆衛生	慶応			スリランカ	線虫学	佐賀	31
1989	ドイツ	ジャーナリズム	東京						

「サロンJ」へのお誘い

第18回サロンJは、昨年11月27日(土)に、東山セツ子会員(お茶の水女子会会長)を講師に迎えて、中東について地理学を通して学ぶというテーマで開催されました。これは、2005年基本情報(面積、人口、

「サロンJ」は、ふだん、事務所を訪れる用事のない方や、会員でない方にも気軽に訪れていただく機会として開かれますので、どうぞ、お友達を誘って出かけください。

第19回サロンJ(第2回学習会)は、1月29日(土)、田中正子副会長による「2004年度中東女性交流派遣報告」が行われました。

三浦由紀子

第18回サロンJは、昨年11月27日(土)に、東山セツ子会員(お茶の水女子会会長)を講師に迎えて、中東について地理学を通して学ぶというテーマで開催されました。これは、2005年基本情報(面積、人口、

「サロンJ」は、ふだん、事務所を訪れる用事のない方や、会員でない方にも気軽に訪れていただく機会として開かれますので、どうぞ、お友達を誘って出かけください。

第19回サロンJ(第2回学習会)は、1月29日(土)、田中正子副会長による「2004年度中東女性交流派遣報告」が行われました。

JAUW新春のつどい

世界の平和を祈り乾杯

財務委員会 松崎和子

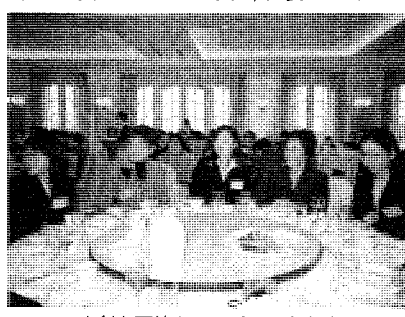
2005年1月8日、ことを、また奨学生に選京王プラザホテルにおいて恒例の新春のつどいが開催されました。

新年を迎えた会員各位の晴やかな笑顔の中、2004年度国内奨学金贈呈式が行われました。初めに鷺見八重子国内奨学委員長、林千代社会福祉委員長から奨学生選考の様子が報告されました。9名の奨学生のうち、愛知支部推薦の東谷瞳さんは残念ながら欠席となってしまいました。8名の方々のスピーチは、いずれも厳しい選考を通った奨学生であることを証明するものでした。

芸術、薬学、医学、科学、法学、行政学とその分野は多様です。中には市役所勤務から青年海外協力隊を経て研究活動にという方もいらっしゃいました。しかしながら研究に伴う喜びと苦しみは共通のものだと思います。

中村道子元会長の乾杯の音頭で会食が始まり、楽しい語り合いと美味しい食事の時の経過を忘れてしまいました。慌しい年末年始が終わり、心身共にリフレッシュしました。

バザーへのご協力に、財務委員一同、心から感謝申し上げます。



真剣な面持ちでスピーチをきく奨学生の皆さん



中村道子元会長の音頭で乾杯の音頭をきく奨学生の皆さん



委員長 平川 委員 長
 認 識 目 的 に 実
 験 する 人 が 現
 れ、ラボアジェ
 夫 妻 の よう に 絵
 に 描 け れ ば 夫 妻
 の 有 機 化 合 物 研 究
 存 在 が 予 言 さ れ た 元 素 の
 発 見、そ し て 華 や か な 諸
 が、や が て 職 業 論 争 が あ り ま し た。

第4回自然科学講演会報告

物質世界の多様性について

分子の形と運動

2004.12.18(土) お茶の水女子大学にて

今年も、東京支部とお茶の水女子大学の協力で、自然科学講演会(公開)がありました。講師は、平川暁子科学研究所奨励委員長(放送大学名誉教授)です。人間は多種多様な物質からなる自然環境の中で生きています。昔の人も物質の根源を考え、新物質が新社会現象を生む今

の会では山崎信子さん、いづれもJAUW会員の方々のご好意で実現した。特に中澤さんは中村部屋のおかみさんと、親方は元閣僚の富士核、現在15名の内弟子が将来の関取をめざして毎日きびしい稽古を重ねている。中澤さんはそのおかみさん業のかたわら、東洋英和女学院大学の大学院

として認められたのである。元素・化合物の確認には、天秤など精密計器が必要でした。またまた税官吏でフランス革命の犠牲になったラボアジェの発見、物質の質量の保存を原子論により説明したのは、産業革命後のマンチェスターで化学の講座を始めたダルトンです。フアラデーの子どものための講演を経て、王立研究所(ロンドン)公開講演まで、二百余年続いています。現在の元素の周期表ができたのは、メンデルエーフの周期律の発見、その背景には(絵に残るリビッチの実験室)多くの人の有機化合物研究、存在が予言された元素の発見、そして華やかな諸

有機化合物の長く大きな分子は、原子の相互の位置が回転・伸縮により変わります。分子の姿が変わると強度や毒性など性質も変わり、多様な利用ができます。今後は物質名と共に性質の説明も必要になる場合が増えるでしょう。

佳客の 深き夢を、化学史を語るを聴けば、冬暖かし

(科学研究奨励委員 時枝裕子)

自然科学講演会

科学研究のプロジェクトとして、2001年から始まりました。科学研究奨励委員会の科学者が講師になり、JAUWの会員(主として文系の)に、現代の自然科学への関心と理解を深めてもらうことを目的とする。第1回「電気を導くプラスチックの発見とノーベル賞」、第2回「ストロスの生物学」、第3回「科学史からみたエンロロピ」、講演後の質問で、各分野の科学者の生の意見をも楽しい。



マンツーマンで楽しく上達
 パソコン講習会

情報委員会、ただ今発信中(その3)

情報委員長 福田 満代

今年度の活動は、HP(ホームページ)の刷新からスタートしました。JAUWの組織の全貌が解るに留まらず、各委員、各支部の「今」の活動が見えるHPに作り変えました。トップページからのリンクメニューを充実して、情報を容易に素早く手に入れることができるようにしました。

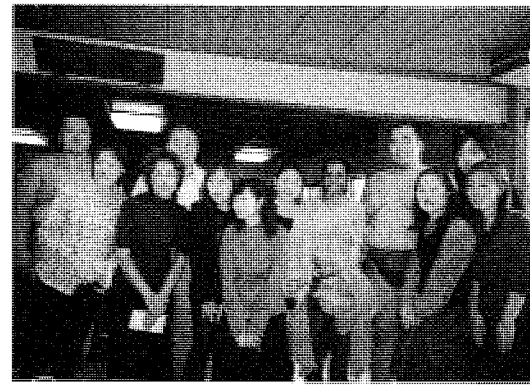
「月例ニュース」は、「臨時ニュース」では、「今」計画されている企画や催しをラインアップしました。今月初めに、パースとんどがPP(パワーポイント)を使用しての発表となり、パネリ

ちやんこ鍋に舌鼓、おかみさんはJAUW会員

教育委員会「留学生と日本文化を学ぶ会」
 担当代表 加藤 恭子

この会の代表を平田宏子さんより引き継いで間もなく1年、多くの方々のご協力をいただき、微力ながら活動を続けてきた。支えてくださる協力会員は東京支部はもとより函館から熊本まで、非会員38名も含め総勢223名を数える。

折角日本に滞在しているのに日本文化に触れることなく、学問だけで帰国してしまう留学生が多いと聞く。日本にいる間に少しでも伝統文化に接していただき、国際理解と国際親善にやささかでもお役に立ちたいとの願いをこめて私たちは活動している。「主として東京の女子大学の国際センターや留学生課または留



中村部屋で、おかみさん(前列左2人目)親方(その後)

で「今日の力士養成のあり方」をテーマに研究された努力家である。また「相撲部屋24時おかみさん奮闘記」を出版された。中村部屋へお邪魔した留学生・協力会員の皆さんは、力士手作りのちやんこ鍋に舌鼓をうった。大きなお腹をかかえながら躊躇の姿勢でお給仕をしたり、私たちの質問に快く答えてくれたお相撲さんは皆、心の優しい若者たちだった。

催しの企画の上で頭を痛めているのは、その日取りである。平日は講義があり、土曜日は大学の催しやアルバイトなどで参加できない学生が多い。もっと多くの学生に参加してほしいとも思う。しかし留学生の笑顔や感謝の言葉に接すると、地道に活動を広げたいこうと思うこの頃である。

< 理事会から >

- 2005年度「若手会員育成金」による研究グループを募集。45歳以下の会員が主催するグループに、年間20万円まで、助成金を支給します。2年継続も可。申込み締め切り 2005年3月末日。(国内・社会福祉・国際奨学委員会)
- JAUW奨学生(国内・社会福祉・国際)の追跡調査の準備が進められています。(国内・社会福祉・国際奨学委員会)
- 『2004年度全国セミナー報告書』を作成中。3月上旬に発行予定。(セミナー報告書編集委員会)
- 「第59回国連総会報告会」(外務省・国連NGO国内婦人委員会の共催)が1月19日(水)に開かれました。(国内NGO委員会)

前号(215号)の訂正とおわび
 「全国セミナーを終えて」 8支部3委員会(発表グループ)→7支部4委員会
 <理事会から> 国際奨学生
 アレムさん(応用生物科学→植物病理学)
 マンガリカさん(植物病理学→応用生物科学)

「会員増強のためのキャンペーン」 仲間の輪(和)を広げよう

ともに楽しみ、学びながら、国際社会の中で、つながりを持ち、貢献している自分がある。

JAUW...1946年設立。1954年、国際大学婦人連盟(IFUW)に加盟。
 IFUW...1919年創立。会員は世界73カ国に約17万人。国連諸機関に代表を派遣し、発言している。

新入会員(4名) 2004年12月~2005年1月 理事会承認			
仙 台 支 部	裕美子(宮学女研究科)	981-3205	仙台市泉区紫山1-26-1
山 東 支 部	啓子(プリストル院)	216-0023	川崎市宮前区けやき平3-11-16
金 沢 支 部	貴子(津)	921-8044	金沢市米泉町2-83-2
西 岡 支 部	野山 美(岡山)	700-0866	岡山市岡南町1-6-28 第3ASKパークハイツ

会費納入のお願い
 セミナー報告書は、会費納入を確認して発送されます。未納の方は至急お納めください。

居留地70番は洋式ホテル・洋食・洋菓子発祥の地。

そのゆかりの地に建つレストラン「かをり」が作りだす洋食・洋菓子の名品たち「桜ゼリー」・「トリフ」・「レーズンサンド」・「いちようチョコレート」・「ヴィーナスの誕生」(8色のベクテンゼリー)・「居留地70番」(ハヤシビーフ・ビーフカレー・コンスープ) etc.

YOKOHAMA **KAORI**

〒231-0023 横浜市中区山下町70番地 (神奈川県近く)
 URL http://www.kawori.co.jp

山下町本店のほか、各有名デパートで販売。地方発送も承ります。
 TEL (045) 681-4401(代)
 FAX (045) 662-3764

楽天市場

www.rakuten.co.jp